校長挨拶

令和８年４月６日

令和８年４月に、第２９代校長として着任いたしました中島一生と申します。本校のＨＰをご覧いただきありがとうございます。

本校は明治４１年に福岡県立小倉中学校として開校し、今年度で創立１１８年目を迎えます。 本校は、「文武両道」「質実剛健」を校是とし、「勉学」「創造」「規律」「勤労」「敬愛」の校訓のもと、誠実さと知性を兼ね備え、日本を牽引する人材の育成に努め、同窓生や地域の方々のご支援により、多くの有為な人材を輩出して参りました。

在校生も、先輩方が築いてこられた輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、さらに発展させていくという強い気持ちをもって、勉学に、学校行事にまた部活動・生徒会活動にひたむきに取り組んでいます。

本校では、育成する資質・能力として、「問いを立てる力」「幅広い知識と教養」「高い学力」「情報活用能力」「失敗を恐れない態度」「粘り強さ」「たくましさ」「自己肯定感」「自尊感情」「コミュニケーション能力」「新しい価値を創造する力」の１１点を挙げています。それらの資質・能力を伸ばすために、日々の授業改善、探究活動の充実、心の教育の推進、グローバル人材の育成、学びあい支えあう教員集団づくりなどを目標に、幅広い教育活動を行っています。

社会が急速に変化し、予測困難な時代と言われる中で、生徒は、百有余年にわたり脈々と引き継がれた倉高生としての誇りと気概を胸に、学校生活を謳歌しています。生徒は３年間で大きく成長し、それぞれの希望進路の実現に向けて邁進する、まさにその姿こそが「将来を切り拓く気概と思いやりの心を持って、困難な課題を解決できる人材」という本校が目指す生徒像であり、小倉高校がそういう生徒が育つ学校であり続けたいと願っています。

私事ですが、小倉高校には令和４年度に副校長として１年間、お世話になっていました。当時は、コロナ禍真っただ中であり、教育活動もかなり制限されていた時期ではありましたが、生徒と教職員が一体となり、何ができるのかを模索しながら、創意工夫の１年間であったことを覚えています。本年度３年ぶりに小倉高校に戻ってきて、身の引き締まる思いですが、生徒や教職員、保護者の方々や明陵同窓会、地域の方々など小倉高校を支えてくださる全ての方々と協力・連携しながら、小倉高校のさらなる充実・発展のために力を尽くす所存です。

中学生の皆さん、また、保護者の皆様、今後、本ホームページ等において本校の教育活動に関する様々な情報を発信してまいりますので、本校への理解及び進路選択にお役立ていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。